

銀河通信

NPO法人 北斗七星

〒376-0006 桐生市新宿 3-3-19

(桐生市総合福祉センター内)

Tel 0277-43-6151 Fax 0277-46-9504

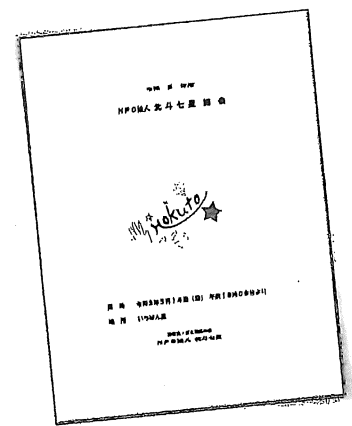
今年度の総会開催

～子どもたちのこれからに思いを馳せて～

5月14日(日)、新型コロナ対策をしたうえで、いちばん星を会場に総会を行いました。

令和4年度は、行動制限がまだまだありましたが、徐々に収束に近づいてきたことが感じられたという一年でした。今年度は従来の活動に近づくことを期待しましょう。

そして、短い時間ではありましたが、久しぶりに会えた会員同士の近況報告など、総会終了後の雑談も有意義なものとなりました。



会員の子どもたちは皆成人していて、年々と入所する子が増え、在宅でもグループホームの選択、これからどうしていこうかと悩んでいる親たちの言葉は安堵と不安が入り混じった会話となりました。すでに入所している息子・娘は、コロナが落ち着いてようやく外泊で帰省できるようになり、久しぶりに会う我が子との会話やスキンシップに嬉しさを覚えつつ、互いに生活のリズムがそれぞれに出来上がってきたためか、外泊時にはなんとともバタバタ感が・・・なんてことも

孫じゃないけど、孫が遊びに来るとこんな感じなのかなあ～(笑)と思うほど、「孫(我が家の場合)は来てよし、帰ってよし」状態でした。そして、自分の体力の低下と年を重ねている実感がMaxでした。ハハハ・・・笑いごとではありません。

きらきら星やいちばん星を利用している保護者の皆さん、そして他の学童期の保護者の皆さん、子どもが成長し、親が年を重ねていくということを頭の片隅でもいいので想像し、考えてみてください。福祉制度は年々変化しています。子どもたちを社会という広い世界に送り出す前に、今から先のことを少しでも考えていければ、今感じている『なんとなく不安』が具体的に見えてくるかもしれません。そうすれば、今のうちにできることが見えてくるはずです。福祉制度を上手に使うことも一つですが、我が子にどういう大人になってほしいか、どういう環境で生きていてほしいか、を考えるだけで変化をしていきます。このことは、私たち北斗七星の会員が全て経験し、実感してきたことです。

私たち北斗七星は、そんな皆さんの力になりたいと、子どもたちが少しでも地域で生活を続けていけるようにと、日々活動しています。これからもずっと・・・。

「初恋、ざらり」

ざくざくろ 著 KADOKAWA 上・下巻 各 1,100 円

軽度の知的障害があり、手帳も取得しているけれど障害を隠して働いている女の子。

頑張っているけれど失敗は多く、「なぜ自分にはできないのか、わからないのか」の繰り返しで自己評価は低い。そんな時、初めて自分を心から認め愛してくれる男性と出会う・・・が、ここでハッピーエンド、にはならない。

障害を告白すること、理解し合うこと。その壁をおそろおそろ叩き、迷いながら少しずつ崩していく二人の様子が微笑ましく尊い。彼女に関わっていくのは実母や支援学校時代の友人、職場の同僚等。よくある感動物語とやや違うのは、これらの人々が皆完全な味方ではないが敵対もしない、障害に対してリアルな反応をしているだけ、に見えることだ。

冷たい、思いやりがない、と思えば意外なところで気遣ってくれている。世の中、割とそんなもんだと思う。私自身も何度も思ったことです。

「消えたママ友」

野原広子 著 KADOKAWA 1,100 円

著者の野原さんは夫婦や親子などを題材にした家庭漫画をよく描かれています。

子供が障害を持っていたということで、私自身のいわゆる「ママ友」は皆戦友のようなものでした。情報交換や愚痴のやり取りはもちろん、他愛のないお喋りは今もありがたいです。

一般的にママ友というと独身の頃とは違い遊びや趣味ではなく子育てを介してのお付き合いになるのでお互いの深い部分にはあまり踏み込まないことが多い。しかし公園遊びや保育園の送迎で明るく会話していた普通のいいお母さん、と思っていたママ友のひとりがある日突然家族を置いて失踪。残されたママ友仲間はそれぞれに「そういえば・・・」と日々の中で引っかかっていたことを思い出しながら、ずっと溜まっていた彼女の思いと自分自身への疑問に気付いてしまいます。

消えた彼女は怎么样了のか。最後まで読んで泣く人もいれば怒る人もいるかな、というお話です。

令和 5 年度賛助会員募集のお願い

今年も皆さんにお願いする季節になりました。

昨年も皆さんのご支援ご協力をいただき、北斗七星の運営にあたってまいりました。障害児・者、家族を取り巻く環境は、まだまだ厳しいものがありますが、更なる支援を進めてまいります。

つきましては、5 年度も引き続き皆さんに賛助会員としてご支援をお願いいたします。

年会費 個人 一口 3,000円

団体 一口 5,000円

申込方法 最寄りの北斗七星会員まで

編集後記

さてさて、コロナが落ち着いたところで、イベントの復活をどうしようか・・・

三年も休んでしまうと、復活には倍以上のエネルギーが必要になりそうです。経費も物価高で今までよりもかかりそう。みんなでアイデアを出し合って・・・なんて話も出ましたが、その前に落ちた体力をどう回復させるかが問題だ!!!!

この問題は若者を巻き込もう!!!!!! なんて心の声が漏れ出てきそう。